

『道の点検簿』～地域住民と協働した交通死傷事故削減の仕組み～ に平成18年度全建賞

- 『道の点検簿』（下記参照）が、全日本建設技術協会の平成18年度全建賞に選ばれました。
- 表彰式が本日、東京都港区の虎ノ門パストラルで行われました。
- 石川県内ではこの他に、御影大橋（実施機関：石川県）が受賞しています。

1. 「全建賞」とは

- (1) 本賞は、社団法人全日本建設技術協会が設置し、「建設技術の活用」、「公共事業の進め方やストックの運用の工夫等」により、特出した成果が得られた事業や施策に贈られるもので、昭和28年に創設された伝統ある賞です。
- (2) 平成18年度は国、都道府県、市町村等から216事業の応募があり、同賞審査委員会（委員長 東京学芸大学教育学部教授 小澤紀美子氏ほか学識経験者等8名）で審査した結果、全体で60事業が受賞しました。

2. 『道の点検簿』～地域住民と協働した交通死傷事故削減の仕組み～とは

- (1) 市民団体「地球の友・金沢」、金沢市内の小中学校児童生徒・PTA、金沢河川国道事務所は、「子供たちの視点から、道路の危険箇所を改善しよう！」という考え方で『自転車・歩行者安全マップ』を制作。
- (2) 『自転車・歩行者安全マップ』で示す危険箇所について、市民団体、PTA、石川県警、道路管理者（国・県・市）による意見交換会を開催し、3年以内を目標に関係機関が一体となって危険箇所を改善することに。
- (3) 「3年以内の改善案」、「現在の改善状況」をまとめた『道の点検簿』（改善状況チェック簿）を作成し、ホームページで公表。

『道の点検簿』は以下のアドレスでご覧いただけます。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/tenkenbo/>

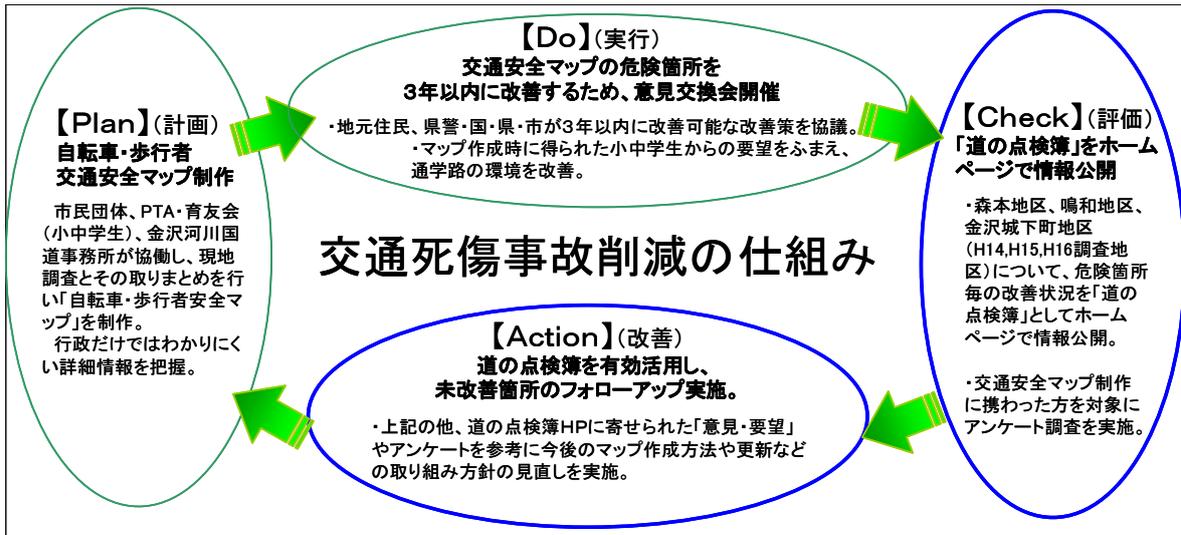
3. 表彰式について

- ・日時：平成19年6月29日（金） 10:30～12:15
- ・場所：虎ノ門パストラル 鳳凰の間 （東京都港区虎ノ門4-1-1）

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
交通対策課長 岡田 茂彦

Te l : 076-264-8800（代表）



PDCA マネジメントサイクルに基づく『道の点検簿』の仕組み

子ども提案の危険箇所は改善された？

《道の点検簿》でわかります☆

～「自転車・歩行者安全マップ」の危険箇所の改善状況をチェック！～



～【子ども協力】自転車・歩行者安全マップによる道のチェック。～

道の点検簿

市民団体(地球の友・金沢)、石川県警、石川県、金沢市、国土交通省金沢河川国道事務所が「子供たちの視点から道路の危険箇所を3年以内に改善しよう！」と取り組んでいる「道の点検簿」をご紹介します。

自転車・歩行者安全マップとは？
地域住民により作成された、危険箇所をまとめたマップ。(詳しくは[こちら](#)をご覧ください)

道の点検簿とは？
自転車・歩行者安全マップに基づき、道路管理者(国・県・市)・公安委員会が、危険箇所毎に回答した「3年以内の改善策」と「現在の改善状況」をまとめたもの。

これらを基に、関係各機関がともに協力し、管理する道路・施設を改善していきたいと思えます。

森本地区 【改善率 52%】 自転車・歩行者安全マップ 【PDF:20KB】	鳴和地区 【改善率 51%】 なるわ環境マップ 【PDF:27KB】	金沢城下町 【改善率 14%】 小坪町中学校、材木町小、中央小、馬場小、神楽岡町小、明成小、の各地区 自転車・歩行者安全マップ 【PDF:222KB】
--	--	--

↑クリックすると、各エリアの道の点検簿PDFをご覧いただけます。

←↓道の点検簿はインターネットで公開中！



【No.7】に対する子供・保護者の意見

改善箇所も未改善箇所も全て公表

意見をもとめた住民の提案	・防護柵の設置。
3年以内対策可能策	・市:ガードレールの設置。
改善状況	・改善済

ガードレールの設置

改善前(平成14年11月) → 改善後(平成17年7月)

平成14年11月: 田舎の道路にガードレールが設置されていない状態。

平成17年7月: 同じ道路にガードレールが設置された状態。

市民団体（地球の友・金沢）、石川県警、石川県、金沢市、金沢河川国道事務所は、「子供たちの視点から、道路の危険箇所を改善しよう！」という考えで作成された「自転車・歩行者安全マップ」の危険箇所について、「3年以内の改善策」と「現在の改善状況」をまとめた『道の点検簿』を公開します。

「道の点検簿」は以下のアドレスでご覧いただけます。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/tenkenbo>

1. 経緯

金沢市は加賀百万石の趣を残す城下町であり、曲がりくねった道や狭小な細街路が多く存在しています。朝夕の通勤時には渋滞を避け、抜け道を探して生活道路に入り込む車両も多く、小中学生が巻き込まれる悲惨な交通死傷事故が発生しています。

このため、市民団体や小中学生の保護者などの地域住民より「安心して利用できる歩行者・自転車路を確保したい」との機運が高まり、危険箇所の情報収集と改善、交通安全の啓発を主な目的として、市民グループ(NGO)「地球の友・金沢」、金沢市内8校の小中学校「PTA・育友会」、「金沢河川国道事務所」が協働し、「自転車・歩行者安全マップ」を作成しました。

今回、「自転車・歩行者安全マップ」で明示された危険箇所について行政機関(石川県警、石川県、金沢市、金沢河川国道事務所)が回答した「3年以内の改善策」と「現在の改善状況」をまとめた《道の点検簿》を公開します。

2. 「自転車・歩行者安全マップ」の取り組み内容

①市民団体である「地球の友・金沢」、金沢市内8校の小中学校「PTA・育友会」、「金沢河川国道事務所」が協働し、「自転車・歩行者安全マップ」を作成。

②分担は市民団体の指導のもと、自転車や歩道を利用することが多い小中学生とその父兄約4000名が校下の道路状況を現地調査し取りまとめ、マップ原案を作成、金沢河川国道事務所が校正と印刷を担当した。

作成したマップは、校下に約8000部配布し地域ぐるみの交通安全を啓発。

- ・ H14…金沢私立森本中学校校下(森本地区マップ)
- ・ H15…金沢市立鳴和中学校校下(鳴和地区マップ)
- ・ H16…金沢市中央地区の小中学校校下(金沢城下町マップ)
- ・ H17～…金沢市駅西地区の小中学校へ拡大中

③現在、PDCAサイクル(※)に基づいてフォローアップを展開中。市民団体、PTA・育友会、石川県警、道路管理者(国・県・市)による意見交換会を開催し、関係機関が一体となって危険箇所を改善している。

現在の改善率は、森本地区52%、鳴和地区51%、金沢城下町地区14%であり、3年以内を目標に順次改善中。

④H18年6月19日より、道の点検簿により改善状況をHPで公表し、情報公開に努めている。

※PDCAサイクル…計画を立て(Plan)、実行し(Do)、その評価(Check)、に基づいて改善(Action)するというサイクル。